

平成28年度 公立大学法人首都大学東京 業務実績評価(素案)からの主な修正(案)

資料1-1

No.	頁	該当箇所	評価素案	修正案	修正理由
全体評価	1	1 総評	(1つ目の・) ・平成28年度は、第二期中期目標期間の最終年度であり、平成29年度から始まる第三期中期目標期間に向けての課題を整理する1年として、年度計画を着実に実施し、順調に成果を上げ、中期目標の達成につながると評価する。	(1つ目の・) ・平成28年度は、 6年間の 第二期中期目標期間の最終年度であり、平成29年度から始まる第三期中期目標期間に向けての課題を整理する1年として、年度計画を着実に実施し、順調に成果を上げ、中期目標の達成につながった 年度であった と評価する。	内容整理
	2		(2つ目の・) ・公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)が設置した… では、教育改革に向けての取組が顕著である。	(2つ目の・) ・公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)が設置した… 2大学1高専は、それぞれの使命・役割を十分に認識して取り組み、期待される成果を挙げた。平成28年度は、特に、教育改革の面で優れた成果が認められる。	内容具体化
	3		(3つ目の・) ・首都大におけるシラバスの記載項目の改善、… 平成30年度に実施される教育・研究組織の再編成に向けた着実な準備 、産技大における運営諮問会議の提言を踏まえたカリキュラムの見直し、事業アーキテクトコースにおけるPBL(Project Based Learning:問題解決型学修)教育の実施、産技高専における高度情報セキュリティ 人材・航空技術者の育成など…	(3つ目の・) ・具体的には、 首都大における平成30年度に実施される教育・研究組織の再編成に向けた着実な準備 、シラバスの記載項目の改善、…産技大における運営諮問会議の提言を踏まえたカリキュラムの見直し、事業アーキテクトコースにおける 起業に寄与するPBL(Project Based Learning:問題解決型学修)教育の開始 、産技高専における 情報セキュリティ技術者・航空技術者の育成、学生による学習到達度の自己評価結果の教員へのフィードバック など…	内容整理・内容具体化
	4		(4つ目の・) ・2大学1高専のいずれでも意欲のある学生確保に向けて、様々な取組が推進されている。首都大学東京での学生が 他県にある 母校を訪問して周知を行う活動、産技大でのロールモデル集作成、高専の女子学生向け広報など、それぞれの課題を踏まえた活動が行われている点を評価する。今後も、戦略的に 学生確保 に向けた取組を推進していくことを期待する。	(4つ目の・) ・2大学1高専のいずれでも意欲のある学生確保に向けて、様々な取組が推進されている。首都大での 高校訪問数の拡大、保護者向け説明会の開催 、学生が母校を訪問して周知を行う活動、産技大でのロールモデル集の作成、 教員の企業訪問 、産技高専での女子学生向け広報など、それぞれの課題を踏まえた活動が行われている点を評価する。今後も、戦略的に 意欲のある志願者の確保 に向けた取組を推進していくことを期待する。	内容具体化
	5		(5つ目の・) ・第二期中期目標期間の課題の一つであった国際化への取組は2大学1高専が協力して学生派遣プログラムを実施するなど、 順調に進められ、平成28年度もその 成果は認められる。第三期中期目標期間においても、引き続き充実させることが望まれる。	(5つ目の・) ・第二期中期目標期間の課題の一つであった国際化への取組は2大学1高専が協力した学生派遣プログラムの実施、 首都大の海外でのプロモーション活動及び留学意欲向上施策の見直し並びに産技高専の海外インターンシップなどが実施され、留学生の受入数や学生の海外派遣者数が増加するなど、 成果は認められる。第三期中期目標期間においても、引き続き 国際化に向けた取組 を充実させることが望まれる。	内容具体化
	6	4	※対応する項目なし	(6つ目の・)※項目を追加 ・研究面では、 首都大においては、先駆的な研究グループへの積極的な研究資源の配分、国際的な研究拠点を目指すセンターの設置とともに、ワーク・ライフ・バランス実現のための研究支援制度の改善、産技大においてはPBL教育に関する研究の深化、産技高専においては外部資金獲得のための新たな支援制度の開始 など、2大学1高専が特徴のある研究と研究環境の整備に一層努めたことを評価する。	研究に関する内容を追加
	7	(6つ目の・) ・2大学1高専とも、学生によるボランティア活動、…	(7つ目の・) ・ 社会貢献については、 2大学1高専とも、学生によるボランティア活動、…	内容整理	
8	2 教育研究について (社会貢献も含む) (首都大学東京について)	(1つ目の・) ・アドミッション・ポリシーに合致する意欲ある学生の獲得を拡充させる取組として、… 入試広報に取り組みとともにWEB出願システムの構築により、受験生の利便性を向上させた。	(1つ目の・) ・アドミッション・ポリシーに合致する意欲ある学生の獲得を拡充させる取組として、… 幅広く入試広報に取り組みとともに、受験生の利便性を向上させるため、平成30年度入学者選抜から開始するWEB出願システムの構築を完了した。	年度計画の記載に合わせて文言修正	
9		(2つ目の・) ・留学生受入を促進するため、海外でのプロモーション活動の充実を 図ったり 、AIMS加盟大学と連携した学生交流プログラムについて前年度のアンケートを踏まえて分野の充実を 図ったりしている 点などを高く評価する。 また、 国内外の大学との連携について、連携大学院教育の実施に関する規程を制定し、大学院教育の質保証・質向上が図られ、学生が最先端の研究に携わり、国際レベルの研究成果をあげることに繋がっている。	(2つ目の・) ・留学生の受入を促進するため、海外でのプロモーション活動の充実を 図るとともに 、AIMS(ASEAN 国際学生交流事業)加盟大学と連携した学生交流プログラムについて前年度のアンケートを踏まえて分野の 充実に取り組んでいる 点などを高く評価する。	文言整理・追加	
10		(3つ目の・) ・大学教育の実施体制等に関する取組として、 より学生が主体的に授業に関わる ことができるようにシラバス記載項目の改善を 図り 、改善の意義や 授業導入の方法 等を具体的に解説した「シラバス作成のガイドライン」を作成し、全教員に配布している点 は高く評価できる。	(3つ目の・) ・国内外の大学との連携について、連携大学院教育の実施に関する規程を制定し、大学院教育の質保証・質向上が図られ、学生が最先端の研究に携わり、国際レベルの研究成果を挙げることに繋がっている。	項目分割 (内容に変更なし)	
11		(4つ目の・) ・平成29年度からの教学IR導入に向けて、組織整備とともに、IRデータの取扱 要項 を定め、本格的にシステムが稼働する体制を整備した。 また、 学生の学修環境の更なる向上を図る取組として、ラーニング・コモンズの運用方法の改善について、スタディ・アシスタントに関する取組の充実を図っている。	(4つ目の・) ・大学教育の実施体制等に関する取組として、 学生が、より主体的に授業に関わる ことができるようにシラバス記載項目の改善を 図るとともに 、改善の意義や 双方向的な授業方法の導入 等を具体的に解説した「シラバス作成のガイドライン」を作成し、全教員に配布している点 を高く評価する。	文言整理	
12		(5つ目の・) ・学長のリーダーシップの下で取り組んだ教育改革に関する学長指定課題について、… 成果を挙げていること を評価する。	(5つ目の・) ・平成29年度からの教学IR導入に向けて、組織整備とともに、IRデータの取扱 要項 を定め、本格的にシステムが稼働する体制を整備した。	項目分割 (内容に変更なし)	
13		5	(6つ目の・) ・学生の学修環境の更なる向上を図る取組として、図書館のラーニング・コモンズの運用方法の改善について、スタディ・アシスタントに関する取組の充実を図っている。	(6つ目の・) ・学生の学修環境の更なる向上を図る取組として、図書館のラーニング・コモンズの運用方法の改善について、スタディ・アシスタントに関する取組の充実を図っている。	項目分割 (内容に変更なし)
14	(7つ目の・) ・学長のリーダーシップの下で取り組んだ教育改革に関する学長指定課題について、… 成果を挙げていること を評価する。	(7つ目の・) ・学長のリーダーシップの下で取り組んだ教育改革に関する学長指定課題について、… 成果を挙げており、 評価する。こ	文言整理		

平成28年度 公立大学法人首都大学東京 業務実績評価(素案)からの主な修正(案)

No.	頁	該当箇所	評価素案	修正案	修正理由
全体評価	15	2 教育研究について (社会貢献も含む) (首都大学東京について)	(6つ目の・) ・学生の多様性に対応したキャリア支援を行うため、複数部署(…)の連携が開始されている点 が評価できる 。今後、この 意見交換を元に 、具体的に 連携した 取組に発展していくことが期待される。	(8つ目の・) ・学生の多様性に対応したキャリア支援を行うため、複数部署(…)の連携が開始されている点 を評価する 。今後、この 連携を基に 、具体的に な 取組に発展していくことが期待される。	表現見直し
	16		(7つ目の・) ・ 就職内定者 や企業で働くOB・OGの生の声を聞くことのできる機会の提供や就職活動アドバイザーによるトークセッションの開催など、新たな取組を実施している。低学年向けキャリア形成支援行事を実施するなど、 学生の雇用の ミスマッチ・早期離職を防ぎ、具体的に働くイメージを持つことを支援する取組を評価する。	(9つ目の・) ・企業で働くOB・OGの生の声を聞くことのできる機会の提供や 就職内定者である 就職活動アドバイザーによるトークセッションの開催など、新たな取組を実施している。低学年向けキャリア形成支援行事を実施するなど、 就職活動における ミスマッチ・早期離職を防ぎ、具体的に働くイメージを持つことを支援する取組を評価する。	表現見直し
	17		(8つ目の・) ・教育・研究、キャンパスの国際化に向けた取組として、…。教員の国際交流の推進が交流先の 学生にも大学の 教育・研究を知り、留学への動機づけの機会ともなるので、更なる交流を推進していただきたい。	(10こ目の・) ・教育・研究、キャンパスの国際化に向けた取組として、…。教員の国際交流の推進が交流先の 学生の立場から見て も 首都大学の 教育・研究を知り、留学への動機付けの機会ともなるので、更なる交流を推進していただきたい。	表現見直し
	18		(10こ目の・) ・独自のボランティアプログラム、…など、ボランティア活動経験者・未経験者いずれに対しても適切な支援を実施している点 が高く評価できる 。	(11こ目の・) ・独自のボランティアプログラム、…など、ボランティア活動経験者・未経験者いずれに対しても適切な支援を実施している点 を高く評価する 。 活動の定着と更なる発展を期待する 。	項目別評価の評定に合わせて追記
	19		(11こ目の・) ・ 学長裁量枠の成果報告会で研究活動実績の分析が行われ、学長裁量経費の 成果報告会などで研究成果をレビューし、その結果を踏まえて、具体的な活動・支援の取組が行われている点 を評価する 。	(13こ目の・) ・ 傾斜的研究費(全学分)学長裁量枠を活用した「選択と集中」による支援として、限られた資源で最大限の成果を出すため、先駆的な研究グループに積極的な研究支援と戦略的な研究支援の配分となるよう、公募要領及び審査基準について見直しを行ったことを評価する 。また、成果報告会などで研究成果をレビューし、その結果を踏まえて、具体的な活動・支援の取組が行われる とともに、研究IRを有効に活用し、研究活動実績を数値等のデータで分析し、改善に生かしている 。	内容具体化
	20		6	(15こ目の・) ・「首都大学東京新技術説明会」、「次世代イノベーション創出プログラム」、「 リそな技術懇親会 」において…	(17こ目の・) ・「首都大学東京新技術説明会」、「次世代イノベーション創出プログラム」 等 において、…
	21	6	(1つ目の・) ・ 社会人が学びやすいよう環境の整備に努め、遠隔授業の実施、単位バンク制度、キャリア再開支援制度などを採用しており、非常に優れた取組だと評価する 。併せて、多様な入試制度も設けており、 多様な バックグラウンドを持つ受験生が 受験しやすい 配慮もされている。	(1つ目の・) ・大学の認知度向上・ブランド力向上に向けて全学的な取組が見られる。特に、大学トップを含め教職員が企業を訪問し、認知度向上と共に企業推薦等による志願者確保に努めている。	内容整理
	22		(2つ目の・) ・大学の認知度向上・ブランド力向上に向けて全学的な取組が見られる。特に、大学トップを含め教職員が企業を訪問し、認知度向上と共に企業推薦等による志願者確保に努めている。	(2つ目の・) ・大学の認知度向上・ブランド力向上に向けて全学的な取組が見られる。特に、大学トップを含め教職員が企業を訪問し、認知度向上と共に企業推薦等による志願者確保に努めている。また、多様な入試制度も設けており、 多彩な バックグラウンドを持つ受験生を 受け入れるための 配慮もされている。	内容整理
	23		(3つ目の・) ・ 様々な取組により志願倍率の向上が図られているが、創造技術専攻は引き続き、1.0倍を下回っていることから、今後も志願者の増加を目指してもらいたい 。	(2つ目の・) ・ しかしながら、志願倍率の向上に努め、様々な取組を行っているにも関わらず、創造技術専攻においては2年連続で定員割れ状態にあることから、今後も認知度向上の取組を通じて志願者増加を目指していただきたい 。	表現見直し
	24		(産業技術大学院大学について)	(1つ目の・) ・社会人が学びやすいよう環境の整備に努め、遠隔授業の実施、単位バンク制度、キャリア再開支援制度などを採用しており、非常に優れた取組だと評価する。…	(3つ目の・) ・社会人が学びやすいよう環境の整備に努め、遠隔授業の実施、単位バンク制度、キャリア再開支援入試制度などを採用しており、非常に優れた取組だと評価する。
25	7	(4つ目の・) ・国内外の高等教育機関の中でも…他大学との差別化の取組は十分であるにもかかわらず、その 実績 が対外的に十分 浸透していないことも現実 である。…	(4つ目の・) ・国内外の高等教育機関の中でも…他大学との差別化の取組は十分であるにもかかわらず、その 実力と実績 が対外的に十分 伝わっていないことは残念 である。…	表現見直し	
26	(7つ目の・) ・PBL教育は…。産業界の 意見を 得たり、外部評価者による助言を受ける などして 、実践性や質向上が図られている点も 評価できる 。…	(4つ目の・) ・PBL教育は…。産業界の 意見や 、外部評価者による助言を受ける 等 、実践性や質向上が図られている点も 評価する 。…	内容整理		
27	8	(2つ目の・) ・JABEE受審を視野に入れたカリキュラムの調整などを行い、学習・教育目標の達成に向けた取組を行った。	(2つ目の・) ・ 新教育課程実施に向けて、学生の主体的な学修を促す質の高い教育を実施できるよう、実験・実習設備の整備や指導書の作成など指導体制を整備している 。また、JABEE受審を視野に入れたカリキュラムの調整などを行い、学修・教育目標の達成に向けた取組を行った。	内容具体化	
28		(8つ目の・) ・研究支援制度を平成28年度から開始した ことにより 、研究活動の活性化を図った。また、外部講師によるセミナー、個別コンサルティング等の効果により、科学研究費補助金の申請者が増加した。今後の成果を期待する。	(8つ目の・) ・研究支援制度を平成28年度から開始し、研究活動の活性化を図った。また、外部講師によるセミナー、個別コンサルティング等の効果により、科学研究費補助金の申請者が増加した。 着実な取組であり、今後の成果が伸長することを期待する 。	表現見直し	

平成28年度 公立大学法人首都大学東京 業務実績評価(素案)からの主な修正(案)

No.	頁	評価素案	修正案	修正理由
全体評価	29	※対応項目なし	(1つ目の・)※項目追加 ・平成30年度からスタートする首都大における教育・研究組織の再編の実施に向けて、新学部・新研究科の構成等の明確化や、施設整備などを積極的に進めた。	学部再編に関する内容を追加
	30	(1つ目の・) ・教員人事計画を基に適切な人事管理が行われ、・・・また、 固有 職員の人材育成プログラムの見直しが行われ、キャリアパスの明確化、 管理者 育成研修等が盛り込まれるなど、人材育成の充実・強化が図られており、・・・	(2つ目の・) ・教員人事計画を基に適切な人事管理が行われ、・・・また、職員の人材育成プログラムの見直しが行われ、キャリアパスの明確化、 管理監督者 育成研修等が盛り込まれるなど、人材育成の充実・強化が図られており、・・・	事実確認
	31	※対応項目なし	(7つ目の・) ・ 節電等の取組のほか、節電意識啓発活動等として、学生に対して、各キャンパスの特色を活かした課外活動を通じた環境教育が行われている点を高く評価する。環境意識を高める効果的な取組であることから、さらに多くの学生が参加できるようなプログラムの開催を期待する。	分科会での評価変更を踏まえ追記
	32	(6つ目の・) ・ この他、安全管理に関する取組として、大規模地震の発生を想定した実践的な訓練を図る など、防災訓練の充実強化が推進されていることは評価する。今後は、「震災後」の大学・高専の役割についても検討いただきたい。	(6つ目の・) ・安全管理に関する取組として、大規模地震の発生を想定した実践的な 訓練の拡充を図る など、防災訓練の充実強化が推進されていることを評価する。 なお、今後は、更に中長期的な視点から、震災後の大学・高専の役割についても検討を深めて いただきたい。	表現見直し
	33	(7つ目の・) ・ハラスメント防止や研究倫理に関する取組が継続的に実施されるなかで、・・・実効性のある対策が 望まれる	(9つ目の・) ・ハラスメント防止や研究倫理に関する取組が継続的に実施されるなかで、・・・実効性のある対策を 期待する	表現見直し

No.	頁	該当箇所	大項目	評価	評価素案	評価	修正案	修正理由
(首都大学東京)								
項目別評価	34	II 1(1) 教育の内容等に関する取組 入学者選抜	1	2	(3つ目の・) ・平成30年度の教育・研究組織再編に伴う新学部・新学科の入試制度について、速やかに決定するとともに、受験生への周知に努めた。	2	(1つ目の・) ・平成30年度の教育・研究組織再編に伴う新学部・新学科の入試制度について、速やかに決定するとともに、受験生への周知に努めた。	順序入替 (内容に変更なし)
	35				(5つ目の・) ・ 一方、学部定員の充足率は安定しているが、志願者は減少傾向にあり、意欲ある学生の獲得に向け、志願者を増やす 努力が望まれる。また、博士後期課程の定員充足率の向上は引き続き課題である。		(4つ目の・) ・学部定員の充足率は安定している 一方で、一般入試の志願数で見ると、第二期中期目標期間の当初よりは増加しておらず、引き続き意欲ある学生の獲得に向けた努力が望まれる。	表現の見直し
	36				(4つ目の・) ・長期履修制度の改正により、大学院生の教育研究活動と生活との両立が図られている 点などが評価できる。		(5つ目の・) ・ 大学院 博士後期課程の 一部の研究科では、定員充足率の向上が引き続き検討 課題である。	表現の見直し
	37				(1つ目の・) ・留学生受入れの促進を図るため、日本留学フェア等で海外でのプロモーション活動の充実をおこなったり、AIMS加盟大学と連携した学生交流プログラムについて前年度のアンケートを踏まえて分野の充実を図ったりしている点などが 高く評価できる。		(6つ目の・) ・ 大学院への志願者を確保するための取組として、長期履修制度の改正を行ったことを評価する。また、これにより、大学院生の教育研究活動と生活との両立が図られている。	表現の見直し
	38	II 1(1) 教育の内容等に関する取組 教育課程・教育方法	2	1	(1つ目の・) ・留学生受入れの促進を図るため、日本留学フェア等で海外でのプロモーション活動の充実をおこなったり、AIMS加盟大学と連携した学生交流プログラムについて前年度のアンケートを踏まえて分野の充実を図ったりしている点などが 高く評価できる。	1	(1つ目の・) ・留学生受入れを促進 する ため、日本留学フェア等で海外でのプロモーション活動の充実を 図るとともに 、AIMS加盟大学と連携した学生交流プログラムについて前年度のアンケートを踏まえて分野の 充実に取り組んでいる 点などを高く評価する。	表現の見直し
	39	II 1(3) 学生支援に関する取組 留学・留学生支援	10	2	(3つ目の・) ・国際化行動計画による 具体的な取組が分かりにくい。 重点的な取組や成果などを明らかにし、メリハリのある報告や自己評価を して いただきたい。	2	(3つ目の・) ・国際化行動計画による重点的な取組や成果などを明らかに する など、メリハリのある報告や自己評価を 心がけて いただきたい。	表現の見直し
	40	II 1(3) 学生支援に関する取組 障がいのある学生への支援	11	2	(2つ目の・) ・障害のある学生本人による勉強会、聴覚障害者支援に関する講習会の開催などによって、学生支援スタッフのスキルが向上するなど、障害者支援スタッフ制度の充実が図られている。	2	(1つ目の・) ・障害のある学生のニーズを反映させた学生支援体制の構築、支援体制の充実を目的とした講習会や障害のある学生本人による勉強会等の積極的な実施及び「首都大学東京における障がい者を理由とする差別の解消に関する教職員対応要領」を策定するなど、組織的に就学全般に対する支援体制を確立したことを評価する。	表現の見直し
	41				(4つ目の・) ・「教職員対応要領」を作成し、その施行に伴う活動を開始している点も評価する。			
42	II 1(3) 学生支援に関する取組 学内外における学生生活活動への支援	12	1	(3つ目の・) ・大学でのボランティア活動の参加機会提供が、学内に留まらず、 将来、また現在においても社会において ボランティアリーダーとなる人材の育成につながっていくことが期待される。	1	(3つ目の・) ・大学でのボランティア活動の参加機会提供が、学内に留まらず、 将来の社会における ボランティアリーダーとなる人材の育成につながっていくことが期待される。	表現の見直し	

平成28年度 公立大学法人首都大学東京 業務実績評価(素案)からの主な修正(案)

No.	頁	該当箇所	大項目	評価	評価素案	評価	修正案	修正理由
(首都大学東京)								
43	15	II 3(2) 社会貢献に関する取組 地域貢献等	15	2	(2つ目の・) ・オープンユニバーシティにおける魅力ある講座の企画を通じて登録会員数が増加していることを評価する。	2	(2つ目の・) ・オープンユニバーシティについては、魅力ある講座を企画提供することにより、登録会員数が増加していることを評価する。	表現の見直し
(産業技術大学院大学)								
44	15	III 1(1) 教育の内容等に関する取組 入学者選抜	18	2	(3つ目の・) ・AIITマンスリーフォーラム、AIIT起業塾開催、単位バンク制度など、多様な試みも重要である。	2	(3つ目の・) ・ <u>認知度向上に向けたAIITマンスリーフォーラム、AIIT起業塾開催、AIIT単位バンクのPR活動</u> など、多様な試みも <u>学生等の確保のための取組として重要</u> である。	内容具体化
45		III 1(2) 教育の実施体制等に関する取組 教育の実施体制	20	1	(3つ目の・) ・複線型教育システム推進のため、…産技大の授業に魅力を感じて、より <u>専門性の高い研究</u> を目指す学生が増えることが期待される。	1	(3つ目の・) ・複線型教育システム推進のため、…産技大の授業に魅力を感じて、 <u>高度で専門的な知識・能力の習得</u> を目指す学生が増えることが期待される。	内容具体化
46	16	III 1(2) 教育の実施体制等に関する取組 教育の質の評価・改善	21	2	(1つ目の・) ・WEBアンケートシステムで学生による授業評価を行い、その結果を受けて、教員による授業の質向上に向けた「アクションプラン」を作成し、取り組んでいることは評価できる。	2	(1つ目の・) ・WEBアンケートシステムで学生による授業評価を行っていること及び評価結果が5段階評価で平均4以上であったことを評価する。その結果を受けて、教員による授業の質向上に向けた「アクションプラン」を作成し、取り組んでいる。	表現の見直し
47					(2つ目の・) ・授業評価結果が5段階評価で平均4以上であったことを評価する。 <u>教員への良い意味での緊張感をもたらしたことは重要である。</u>			
48	16	III 2 研究に関する目標を達成するための措置 研究の内容等	23	2	(1つ目の・) ・初めて両専攻合同のPBL研究会を開催して、PBL教育の成果を検証し、課題・今後のあり方を研究したことを評価する。	2	(1つ目の・) ・ <u>実践的な教育手法等について研究を行っており</u> 、初めて両専攻合同のPBL研究会を開催して、PBL教育の成果を検証し、課題・今後のあり方なり方を研究したことを評価する。ブレンディッド・ラーニングについても、成果の検証と改革への取組を行った。	表現の見直し
49					(2つ目の・) ・ブレンディッド・ラーニングについても、成果の検証と改革への取組を行ったことを評価する。			
(都立産業技術高等専門学校)								
50	17	IV 1(1) 教育の内容等に関する取組 入学者選抜	28	2	(1つ目の・) ・女子中学生向けの広報の充実や、学生インタビューのページなど中学生に興味を持ってもらえるようなWebページの改善等により、相談件数や志願者数が増加し、取組の効果が得られている。	2	(1つ目の・) ・ <u>ものづくりに意欲的に取り組む多様な学生を一層受け入れるための取組として</u> 、女子中学生向けの広報の充実や、学生インタビューのページなど中学生に興味を持ってもらえるようなWebページの改善等により、相談件数や志願者数が増加し、取組の効果が得られている。	前提の追加
51	18	IV 1(2) 教育の実施体制等に関する取組 教育の質の評価・改善	31	2	(1つ目の・) ・学生による学習到達度の自己評価の結果を各教員にフィードバックし、平成28年度の授業実施に向けたシラバスの修正や授業内容・方法の検討を促したことは評価する。	2	(1つ目の・) ・ <u>平成27年度に実施した</u> 学生による学習到達度の自己評価の結果を各教員にフィードバックし、平成28年度の授業実施に向けたシラバスの修正や授業内容・方法の検討を促したことは評価する。	内容具体化
(法人運営等)								
52	19	V 1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	39	2	(3つ目の・) ・新任教員に対して、 <u>授業の質向上に資する研修が行われている。今後も新任教員のニーズや授業への効果を踏まえた</u> 研修の充実を期待する。	2	(3つ目の・) ・新任教員に対して、 <u>各大学・高専に適した研修を実施している。サービス、教務学生関係の知識習得につながる研修とともに、今後も円滑な授業運営や授業の質向上に資する</u> 研修の充実を期待する。	内容具体化
53	19		40	2	※対応する項目なし	2	(1つ目の・) ・ <u>大学職員の育成に資する研修の改善に取り組んだこと</u> を評価する。	前提の追加
54	21	VI 3 資産の管理運用に関する目標を達成するための措置	45	2	(1つ目の・) ・知的財産アドバイザー派遣事業に採択され、知的財産の有効活用に向け、専門家によるアドバイスを受けた。	2	(1つ目の・) ・ <u>(独)工業所有権情報・研修館(INPIT)の</u> 知的財産アドバイザー派遣事業に採択され、知的財産の有効活用に向け、専門家によるアドバイスを受けた。	事実確認
55	21	VII 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	46	2	(2つ目の・) ・次期認証評価に向けて、自己点検・評価委員会を学長が委員長を務める形に再編し、…	2	(2つ目の・) ・ <u>首都大では次期認証評価に向けて</u> 、自己点検・評価委員会を学長が委員長を務める形に再編し、…	事実確認

平成28年度 公立大学法人首都大学東京 業務実績評価(素案)からの主な修正(案)

No.	頁	該当箇所	大項目	評価	評価素案	評価	修正案	修正理由
(法人運営等)								
項目別 評価	56	22	VIII4 国際化に関する 目標を達成する ための措置	52	2	(1つ目の・) ・経済連携協定により来日したアジアからの看護師候補者や介護福祉士候補者に対し、国家試験の支援を行ったことを評価する。	(1つ目の・) ・経済連携協定により来日したアジアからの看護師候補者や介護福祉士候補者に対し、国家試験 <u>に向け</u> た学習の支援を行ったことを評価する。	内容具体化

					評価素案	修正案	修正理由
(共通修正事項)							
					評価 <u>できる</u> 。	評価 <u>する</u> 。	